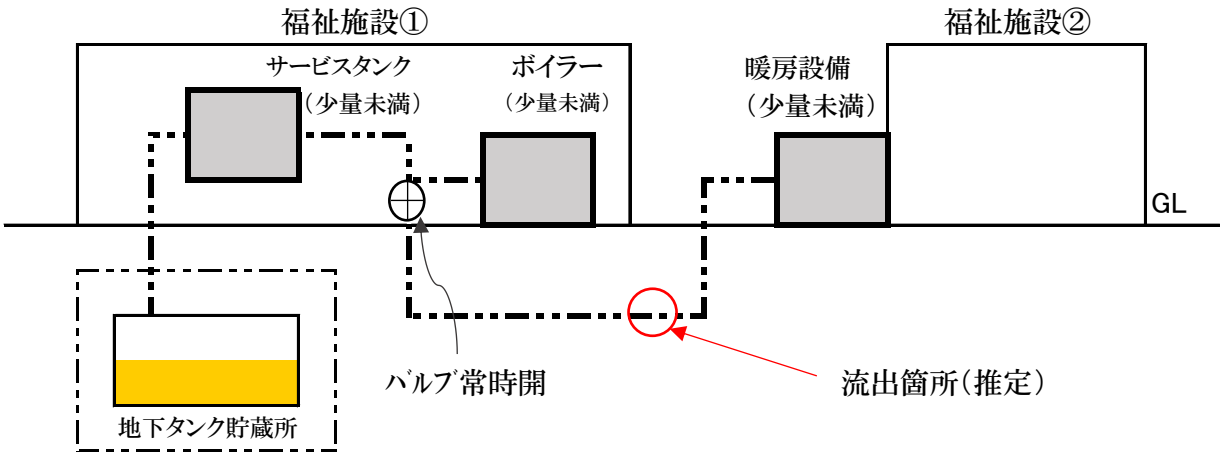
地下埋設配管からの流出事故防止及び被害の拡大防止について

先般、新潟県内の福祉施設において、地下埋設配管から灯油約5,000リットルの流出事故がありました。地下埋設配管は、目視による日常点検が困難なことから、定期点検のうち漏れの点検及び日常の在庫管理（消費量と在庫量の確認）が流出による被害拡大の防止に有効です。

危険物施設及び危険物を管理されている事業者様につきましては、流出事故の未然防止の観点から定期点検の徹底をお願い致します。また、点検義務のない部分についても点検を検討していただきたいと思います。

事故概要（非危険物施設）

福祉施設内サービスタンク（灯油）からボイラーへの供給配管の途中で分岐する隣接福祉施設暖房設備に至る地下埋設配管部分（いずれも貯蔵・取扱量が指定数量5分の1未満）から灯油約5,000リットルが地中に流出したものと推定される。



※　地中に危険物を流出させてしまった場合、周囲への影響が広範囲となり、土壌の入れ替え等現状回復に膨大な費用を要する場合があります。日常点検等で防げる事故は未然に防ぎましょう。

新発田消防本部予防課
0254-22-8096